



すいた市議会だより

No.309

9月定例会・新年号

編集：議会広報委員会 発行：吹田市議会 ◎吹田市泉町1丁目3番40号 ◎直通電話06(6384)2663/FAX06(6338)0920

◎市議会のホームページは [吹田市議会](https://www.city.suita.osaka.jp/home/shigikai.html) 検索 (https://www.city.suita.osaka.jp/home/shigikai.html)

◎本会議のインターネット放映（生中継・録画放映）を実施しています。「議会中継（インターネット）」からぜひご覧ください。

子ども医療費助成を18歳まで拡充

9月12日から10月7日までの会期で9月定例会を開きました。本定例会では、子ども医療費の助成対象者の範囲を拡大するための子ども医療費助成条例改正案をはじめ、吹田市介護老人保健施設と旧市立吹田市民病院をつなぐ連絡橋の撤去に要する経費等を計上した一般会計補正予算案（第6号）など、31件の議案が市長から提出されました。

市長提出議案のうち、平成30年（2018年）度の一般会計及び8特別会計の決算認定は、決算常任委員会に付託し、継続審査とすることになりましたが、これらを除くその他の議案は、すべて議決等を行いました。

なお、一般会計補正予算案（第6号）については、賛成多数で可決し、併せて議員から提出された附帯決議を全員賛成で可決しました。（委員会での審査内容の一部は8～12面に、附帯決議の概要は13面に、議決結果等は14、15面に掲載）

主な掲載内容	9月定例会の概要	1
	代表質問・質問（個人質問）	2～7
	常任委員会の審査から	8～12
	意見書・決議、議会日誌	13
	議決結果	14～15
	決算常任委員会の提言ほか	16

新年明けましておめでとうございます



議員の年賀状は、答礼によるものを除き公職選挙法で禁止されていますので、本紙上をもって新年のあいさつとさせていただきます。

(議員名)	(住所)	(電話)	(議員名)	(住所)	(電話)
議長 吉瀬 武司			山本 力		
副議長 玉井美樹子			矢野伸一郎		
議員 泉井 智弘			井上真佐美		
澤田 直己			野田 泰弘		
馬場慶次郎			藤木 栄亮		
五十川有香			里野 善徳		
池淵佐知子			高村 将敏		
有澤 由真			橋本 潤		
石川 勝			斎藤 晃		
後藤 恭平			松尾 翔太		
浜川 剛			井口 直美		
白石 透			益田 洋平		
石田 就平			小北 一美		
生野 秀昭			坂口 妙子		
西岡 友和			村口久美子		
川本 均			山根 建人		
木村 裕			柿原 真生		
			塩見みゆき		
			竹村 博之		

住所欄の(*)は連絡所を表しています。

(議席順)

代表質問・質問について

9月19日、20日、24日、25日の4日間で31人の議員が代表質問、質問(個人質問)を行いました。その一部を質問順にお伝えします。(表記方法は会派の意向を尊重しています。)

詳細な内容は、会議録をご覧ください。会議録は、市役所の市民総務室(情報公開)、図書館等に備えています。また、市議会のホームページでは、会議録検索・閲覧、本会議の録画放映の視聴ができます。

代 表 質 問

今定例会では7会派が代表質問を行いました。



市民と歩む議員の会
馬場慶次郎

AEDを常時使用できる場所に

問 他市では、公共施設の閉館時等でも緊急時にAEDを使用できるよう、屋外移設やコンビニエンスストアへの設置を進めている事例もある。本市でも担当部署を定め、AEDを24時間いつでも使用できる場所に設置を推進していくべきではないか。

答副市長 AEDの利用環境の整備は望ましいため、危機管理や消防を主な担当として、まず市の関与の在り方を検討し、必要な対応に努める。

北千里小学校跡地の複合施設の運営には地域力を生かす手法を

問 本市では、北千里小学校跡地複合施設を建設予定だが、他市の類似施設では、指定管理者制度を活用し、計画などに携わった市民等が設立したNPO法人を指定することで、市民参加型の運営をしている。本市でも地域力を高めるため、同施設の運営に同じ手法を取り入れてはどうか。

答市長 同施設が地域力を高めるモデル拠点となるよう、管理運営の手法についてしっかりと検討を進める。



自由民主党絆の会
澤田直己

JR吹田駅前の再整備について

問 昨年2月定例会で、JR吹田駅前整備の基本構想を策定するため、大阪府等の関係機関での組織体を設置し、準備を進める旨の答弁があった。現状と今後の方向性を聞きたい。

答 昨年8月にJR吹田駅南口周辺将来構想検討会として正式に発足し、第1回目の会議を開催した。

答副市長 今後については、同検討会でJR吹田駅南口周辺にふさわしいブランドデザインの検討を進める。

たばこ対策の取り組みを

問 環境美化推進重点地区の岸辺駅の北側では、喫煙所を設置しないなど、モラル任せの施策を推進した結果、たばこのポイ捨てが多く、むしろ環境が悪化している。市の協議状況を聞くとともに、市たばこ税で煙が漏れない喫煙所を設置してはどうか。

答 協議は庁内検討会議等で行っているが、現在、具体的な内容を示せる段階ではない。また、たばこ対策は喫煙所の設置ではなく、地域で喫煙しにくい環境づくり等が必要と考える。



公明党
浜川剛

いじめ予防授業の導入を

問 いじめは被害者、加害者のみならず、多くの子どもたちの成長にも影響を及ぼす。多様化するいじめの対応には、教員個人の経験だけでは限界があるため、科学的根拠に基づいたいじめ予防授業を全校に導入すべきと考えるが、見解を聞きたい。

答教育長 いじめが起こりにくい風土の構築が重要であり、科学的根拠がある方策の必要性を認識している。

答市長 いじめが生じにくい社会環境の整備策として、新たな可能性を感じており、今後の参考にしていく。

妊婦健診の助成を拡充せよ

問 市は、医療機関等で母子の健康状態を検査する妊婦健診に公費助成を実施しているが、近隣市等と比べ、助成額の上限が低額である。近隣市等と同程度に拡充すべきではないか。

答 他の自治体の助成額等を参考に、助成額の拡充を含め、検討していく。

答市長 他の自治体の状況等を参照し、一定以上の隔たりがあれば、適正な助成制度となるように努めていく。



民主・立憲フォーラム
川本 均

認知症の対策について

問 認知症は早期発見・対応が重要であることから、本市では、認知症初期集中支援チームを配置するなど、その対策に力を入れて取り組んでいる。これらの取り組みのほかに、できるかぎり認知症がいの早期発見・診断につなげるため、市は、どのように市民に啓発を行っているのか。

答 軽度認知障害は、適切な対応で維持、改善できる場合もある。そのため、早期発見用の認知症チェックリストの配布や、認知症が疑われる相談者に受診を促す個別指導の実施、吹田さらさら脳トシ体操を活用した予防法の周知など、市民への啓発に取り組んでいる。

問 若年性認知症では、就労継続の難しさに起因する経済的な問題や、親の介護と重なる複数介護が課題と言われている。本市での実態と今後の対策について聞きたい。

答 大阪府が実施した若年性認知症の調査結果が、近く発表される予定であり、その調査結果を基に、関係部局と連携し、対策を検討していく。



大阪維新の会・吹田
斎藤 晃

特別職報酬等審議会について

問 特別職報酬等審議会委員には中立性が必要のため、多額の市補助金交付団体は委員から排除すべきではないか。また、市長後援会と利害関係があるとおぼしき企業代表者が委員であるようだが、不適切ではないか。

答 業務上の関係と、委員として適切かは関係がないものと考えている。

答市長 私が所属していない組織について答える立場にはない。

吹田市開発ビル株式会社の問題

問 開発ビル株式会社が区分所有する吹田さんくすに、外壁落下防止ネットが設置されているが、救助・避難活動に支障はないのか。また、この危機管理上の問題が表面化しているのは、天井下で元消防長と元危機管理監が勤めているなど、同社の体質が原因と考えるが、どう取り組むのか。

答 ネットは防災性であり、切断を要するが、救助活動等に支障はない。今後、避難設備については指導する。

答副市長 今後、外郭団体とも連携し、さまざまな問題解決に取り組む。



日本共産党
山根 建人

再生可能エネルギーへの転換を

問 企業や自治体が使用電力を100%再生可能エネルギーに転換することを宣言し、実践する「再エネ100宣言REACTION」が新たな枠組みとして発足した。本市も参加表明し、取り組みを進めてはどうか。

答 本市は、再生可能エネルギーの導入拡大を図っているため、この枠組みの詳細を情報収集し、内容を精査して参加の必要性を検討していく。

子どもの貧困と虐待防止対策を

問 以前から子どもの貧困対策について、体制強化や本気の取り組みを求めてきたが、進捗状況を聞きたい。また、中核市移行に伴う児童虐待防止対策について、市長の決意を問う。

答 市内の子ども食堂を訪問し、状況の把握に努めながら、新たな対策と必要な組織体制を検討している。

答市長 児童虐待を見逃さないよう地域社会の意識を高め、行政と各機関が連携して未然防止に取り組むことが大切である。中核市移行を機に、これらの対応、機能を強化していく。



吹田新選会
後藤 恭平

中学校給食の実施方式の変更を

問 本市の中学校給食は、選択制のデリバリー方式で実施しているが、小学校と同様に全生徒に提供する実施でのニーズは、年々高まっている。費用やスペースの問題を理由に、一切実施しないのではなく、まず可能な学校からモデル実施してはどうか。

答市長 大きな財政負担や将来にわたる実施スペースの確保、学校間で異なる給食方式への社会の容認など、問題の解決策を示せない現状では、慎重に政策判断すべきと考えている。

小規模校の教育の質を保て

問 小規模校では、教員の配置数が少ないため、大規模校等との教育の質に差が生じていると感じる。子どもへの教育の質を保つためであれば、地域理解も得られると思われるため、校区変更などを実施すべきでないか。

答 小規模校には、市費による教員配置を行い、多様化する教育課題の解消に努めているが、各学年すべてで学級が一つとなる場合には、学校の統合等の検討が必要と考えている。

質問（個人質問）

今定例会では24人の議員が質問（個人質問）を行いました。



大阪維新の会・吹田
井口 直美

子ども医療証の有効期限延長を

問 子ども医療費助成制度の医療証は、1年間の有効期限で、更新分が対象者に毎年送付されるため、医療機関が期限切れの医療証を提示され、困惑することがあると聞く。経費削減から有効期限を延長できないか。

答 現行の中学校修了前までから、18歳年齢到達年度末までへの対象年齢拡充後は、制度対象期限内まで利用できる医療証を発行したい。



自由民主党絆の会
白石 透

北千里地域で不足が見込まれる高齢者施設などの誘致の進捗は

問 北千里地域では高齢者施設や保育施設の不足が見込まれるため、平成30年9月定例会で北千里小学校跡地複合施設の建設予定地北側等に誘致すべきと質問したが、進捗を問う。

答 小規模特別養護老人ホーム等を、早期に整備できるように検討している。

答 保育施設を早期に公募できるように、関係部局と協議を進めている。



公明党
小北 一美

認知症の診療体制の構築を

問 市は初期の認知症の方を支援するため、認知症初期集中支援チームを配置しているが、認知症の方のさらなる増加が予想される中、同チームと掛かりつけ医との連携が重要となる。掛かりつけ医を核とした認知症診療体制を構築すべきではないか。

答 掛かりつけ医の役割は大きいと認識しており、今後、医師会と連携し、認知症診療体制の構築に努力したい。



日本共産党
竹村 博之

就学援助の支給対象について

問 本市の中学校給食は、生徒の選択制で提供しているが、その給食費が本市の就学援助で支給対象になっていない。大阪府内の多くの自治体では支給対象にしているため、本市でも早期に対象とすべきではないか。

答 経済的理由で給食の選択を控えていた生徒も、安心して食べられるよう、就学援助の対象とする必要があると考えており、今後も検討する。



公明党
井上 真佐美

発達障がい児の初診待機の解消を

問 発達障がい児が疑われる児童等の初診待機が長期化している中、国は、医療機関が行う事前面接等を児童発達支援センター等に委託できるようにして、診断に専念できる環境整備を図っている。本市も関係機関での診断前の支援体制を構築できないか。

答 現在、診断に関係なく、各種の親子教室等で療育支援をしているが、初診待機解消策が必要と考えている。



日本共産党
村口 久美子

特別教室のエアコン設置を急げ

問 小・中学校の特別教室では、エアコン設置が未完了のため、2学期には40度の日もあった。授業や部活動で使用する特別教室の過酷な現状を把握し、設置計画の前倒しも含め、早急に環境を改善すべきではないか。

答 現時点で設置完了時期の前倒しは困難だが、特別教室へのエアコン設置は不可欠と認識しており、早期設置に向け引き続き取り組んでいく。

本会議の傍聴に手話通訳者を派遣します

聴覚障がい者の方で手話通訳（無料）を希望される方は、傍聴希望日の7日前までに議会事務局までご連絡ください。

連絡先 議会事務局

FAX 06-6338-0920

メール gikaisyom@city.suita.osaka.jp

* 申込書などは、市議会ホームページに掲載しています。



災害ボランティアセンターの 新たな拠点の整備を急げ

問 平成30年の災害発生時に開設された災害ボランティアセンターでは、支援物資を保管する倉庫の確保やボランティアの受援体制等に課題があった。市として、新たな活動拠点の整備を早急に検討すべきでないか。

答副市長 総合福祉会館だけでなく、市内大学等の施設も活動拠点に加えるなど、早急に検討を進めていく。



校内塾創設で放課後学習支援を

問 子どもの放課後対策について、各地域の尽力などにより、安心、安全な居場所が確保されているが、学習面では、共働きや経済的な理由等で子どもの塾通いが困難な家庭もあり課題と感ずる。教育格差の解消のためにも校内塾を創設してはどうか。

答 指導する人材や教室確保などの課題があり、早急に実現できないが、他市での実施状況等を調査していく。



公立保育所でおむつを処分せよ

問 本市の公立保育所では、使用したおむつを保護者が持ち帰ることが義務づけられている。保護者に排せつ状況から健康状態を確認してもらいう理由であれば、帰る際に確認してもらい、保育所で処分できないのか。

答 おむつの処分費用や処分までの保管場所が必要となえ、おむつの保管には適切な衛生管理が必須であるため、他市事例も参考に研究したい。



健康施策にボウリングの活用を

問 健康志向の高まりから、生涯スポーツとしてのボウリングに注目が集まっている。実際、ボウリングを生涯スポーツで行う者は、体力年齢が歴年齢より約4歳若いと示す研究結果もあるため、本市の健康施策でボウリングを取り入れてはどうか。

答 ボウリングは幅広い年齢層で楽しめ、交流が心の安らぎにもなるため、どう取り組めるか検討していく。



万博公園南交差点の渋滞対策を

問 万博公園南交差点において、エキスポシティからの出場車による渋滞が、特に土日、祝日の夕方はいびどく、山田東地域の住民の車両等が交差点に進入できない状況が解消されていない。市の責任で関係機関とさらなる渋滞対策を講じるべきではないか。

答 どのような対策が可能であるか、大阪府茨木土木事務所、吹田警察署及び三井不動産株式会社と協議する。



千里丘駅西口の再開発について

問 摂津市にある千里丘駅は、多くの吹田市民が利用しているが、駅西口前が非常に狭いため、通勤通学の時間帯は特に危険である。摂津市の施行で、再開発に向け始動したと聞いたが、現状はどうなっているのか。

答 摂津市では、同駅西地区の市街地再開発事業等の都市計画決定に向け手続きを進めており、昨年8月に市民説明会を開催したと聞いている。

本会議傍聴時の一時保育を実施しています

生後12か月以上就学前の幼児を持つ保護者の方が本会議を傍聴される際に、無料で一時保育を実施しています。

本会議の質問日及び討論・採決(会期最終)日の、(1)午前10時から午後0時、(2)午後1時から午後3時、(3)午後3時から午後5時の各2時間を1単位とし、それぞれ4人までお預かりできます。(利用上限は、幼児1人につき1日当たり1単位で、申し込み先着順)

希望される方は、傍聴希望日の3日前までに、議会事務局(直通電話6384-2644)にお申し込みください。



実際の一時保育の様子



吹田新選会
石川 勝

MaaSで地域課題の解決を

問 MaaSは複数の交通手段を一つとして捉え、利用者にサービスを提供する新たな移動の概念であるが、行政がこれを取り入れ、事業者と連携すれば、多様な地域課題を解決できると考える。本市でのMaaSの導入について、どう考えているのか。

答 市民の移動手段の確保や新たなまちづくりの可能性も考えられるため、先進事例を参考に研究していく。



市民と歩む議員の会
五十川 有香

特別教室の空調未整備の責任は

問 市長は猛暑から子どもを守るため、安全な教育環境を整えると施政方針で述べたが、特別教室で熱中症の疑いで救急搬送された事案はなかったのか。また、空調未整備の中で事案があれば、責任者は誰になるのか。

答 昨年8月に、中学校の部活動中、熱中症の疑いで生徒3名が緊急搬送された事例があった。なお、各校の環境衛生管理の責任者は学校長である。



民主・立憲フォーラム
西岡 友和

今後の重要な市政課題の展望は

問 本市において、高齢者への健康長寿の取り組みや子育て世代への支援、未来を担う青少年への積極的な投資が、今後の重要な市政課題と考える。これらの課題の展望について、どのように考えて進めていくのか。

答 全市民に対して何が必要なのか、議会と行政が知恵を持ち寄り、前向きな議論を重ね、責任を持って決断できるような市政運営に努める。



大阪維新の会・吹田
橋本 潤

教育委員会への改革の現状は

問 市長は昨年の7月定例会で、いじめ事案を受け、教育委員会改革の必要性と、その改革で市長部局が関与すべき範囲を詳しく答弁した。その取り組みの現状について聞きたい。

答 現在、改革の最中だが、高い教育意識を持つ多くの現場の教師を尊重しながら、学校組織が苦手とする組織経営などを市長部局が補強し、望ましい体制づくり等に取り組む。



公明党
野田 泰弘

日の出住宅の解体工事について

問 市営日の出住宅の解体工事について、近隣住宅への影響に関する家屋調査は、近接の住宅だけでよいのか。また、がれき搬出車両に関する説明は、経路沿いの住民に行うのか。

答 家屋調査は、過去の実績により、敷地境界から10mの範囲で行う予定であり、妥当と考える。また、搬出車両の説明は、説明会の開催のほか、経路沿いの住民には個別訪問を行う。



自由民主党絆の会
泉井 智弘

重度障がい者通所施設の整備を

問 医療的ケアを要する障がい者の通所施設は、いまだ2か所である。これまで多額の予算を投じてきた重度障がい者支援策がずさんであったと考えるが、当該通所施設を選択できる早急な環境整備が必要ではないか。

答 すべての障がい者が福祉サービスを選択できる環境整備が必要と認識している。今後、事業者の多様な事業展開や新たな参入促進に取り組む。



公明党
坂口 妙子

マイ・タイムラインの作成を

問 市は大規模災害の発生に備えたタイムライン(防災行動計画)を作成したが、それ以外にも、家族構成や生活環境等に合わせたマイ・タイムラインを、一人でも多くの市民に作成してもらうことが重要ではないか。

答 災害を想定し、個人はもちろん、家庭や地域で話し合い、マイ・タイムラインなどの行動計画を作成し、共有することは大変重要と考える。



市民と歩む議員の会
池淵 佐知子

ガンバ大阪と協働の読書振興を

問 セレッソ大阪は、読書を通じて子どもの豊かな心を育むため、大阪市立図書館と協働し、市立小学校の全児童にオリジナル読書手帳を配布している。本市でも、ガンバ大阪とオリジナル手帳を配布してはどうか。

答 ガンバ大阪と協働した読書振興は、児童が読書を楽しむ契機になるため、大阪市での読書手帳の配布事例を調査し関係部局と検討していく。



自由民主党 石田 就平

新生児聴覚検査に対する助成を

問 現在、大阪府内の12市町村では、新生児聴覚検査の費用を助成している。過去に国から、市町村への地方交付税措置を拡充したため、同検査の公費助成の実施を求める通知があったが、本市はいつから実施するのか。

答 現在、同検査の方法や費用などについて、他市町村や医療機関等に調査を行っており、検査費用の助成の実施に向けた方策を検討している。



日本共産党 柿原 真生

佐井寺西土地区画整理について

問 道路と宅地を一体的に整備する佐井寺西土地区画整理事業の完了後、対象地区の人口増加が想定されており、周辺住民は公共施設の整備にも高い関心を寄せている。同事業によるまちづくりの考え方を聞きたい。

答 市長 良好なまちづくりの意味を改めて考え、将来像を具体的に示したうえで事業を進め、暮らしやすく環境に配慮したまちづくりに努める。



無所属クラブ 生野 秀昭

レスリング教室に常設練習場を

問 強豪チームの吹田市民レスリング教室が成績不振の傾向にあるが、市はどう分析しているのか。また、常設練習場の設置の検討状況を問う。

答 全国大会入賞者が減っているが、民間クラブと比べ練習環境が不十分なか中、全国の強豪であることは、指導者等の努力のたまものと考えている。

答 市長 小規模な常設練習場の設置について、引き続き検討していく。



大阪維新の会・吹田 松尾 翔太

スモークフリー実現への対策は

問 市が進めているスモークフリーの取り組みには賛同するが、実際には、平然と路上喫煙が行われていると感じる。路上に吸い殻が捨てられている現状にどう対応していくのか。

答 市長 まずは喫煙者の良識に訴え、マナーを守ってもらえるよう、引き続き、粘り強く啓発していくが、その取り組みの先には、より厳しい対応を行うこともありえると考えている。

市議会ホームページから会議録の検索、閲覧ができます

パソコン、スマートフォン等で、議会の会議録(本会議録、委員会記録)をご覧になれます。なお、本会議については、正式な会議録が作成されるまでの間、速報版を掲載しています。(速報版は、本会議最終日(討論・採決)から、おおむね20日以内にその会期中の会議録を掲載し、正式な会議録を会議録検索システムに掲載した時点で削除します。)



市議会のホームページ

本会議録の速報版の閲覧方法

①をクリックすると、閲覧したい日の会議録が選べます。

会議録検索システムの閲覧方法

②をクリックすると、検索システムのトップ画面が表示されますので、右上にある「検索」ボタンをさらにクリックし、表示された画面内の対象年、キーワード、発言者、会議の種類などの条件を絞り込めば、質問や答弁を検索することができます。



会議録検索システム



常任委員会の審査から

付託案件

議案第95号 一般会計補正予算(第6号)

国の補助金を活用し、認知症高齢者グループホーム等を対象に、非常用自家発電設備の整備費用を助成する経費など、1億7,651万円の増額補正のほか、債務負担行為(複数年度にわたり支出を予定する事業)補正として、旧北千里保育園解体撤去事業、片山高浜線自転車搬送コンベア設置事業、豊津第一小学校校舎増築工事に係る実施設計業務等を追加

予算常任委員会には予算案1件が付託されました。
付託案件、主な内容(審査内容・結果を含む)は、次のとおりです。

予算常任委員会
〔審査案件〕
予算関係の議案



議案第95号 一般会計補正予算(第6号)

賛成多数で
承認

〈主な内容〉

○認知症高齢者グループホーム等の
防災改修等支援事業 90万円

○育成室運営委託事業・育成室管理事業
1,088万円

新たに3か所の留守家庭児童育成室(東、山手、高野台)を運営委託するにあたり、委託先選定に係る委員報酬、施設の補修や引継保育等の経費を追加



留守家庭児童育成室の様子

○(仮称)岸部中住宅統合建替事業
4,056万円

事業用地における埋蔵文化財の試掘調査の結果を踏まえ、本掘調査に係る経費を追加

○吹田市介護老人保健施設施設管理事業
148万円

介護老人保健施設と旧市立吹田市民病院をつなぐ連絡橋の撤去に要する経費を追加



介護老人保健施設と旧市立吹田市民病院をつなぐ連絡橋

○地方独立行政法人市立吹田市民病院
運営費負担事業 430万円

市立吹田市民病院の患者送迎用バスの定員超過により乗車できない状況を解消するために要する経費を補助

○被災農業者支援事業 325万円

大阪府の補助金を活用し、平成30年に発生した台風21号により被災した市内農家のビニールハウス再建に必要な費用を助成

〈賛成意見の概要〉

○豊津第一小学校の校舎増築工事により、隣接する豊津第一幼稚園の園庭が縮小され、日照時間の低下も懸念される。良好な教育環境を確保するため、関係部署で代替措置をしっかりと協議するなどして、今後、課題解決に努められたい。

○地方独立行政法人市立吹田市民病院の患者送迎用バスの運行補助金について、補助期間は市民病院の経営状況等により検討するとしているが、バスを利用できる地域が一部に限られており、不公平である。市民病院の経営状況にかかわらず、補助期間を定められたい。



臨時便が運行される患者送迎用バス

〈反対意見の概要〉

○スケジュールありきで留守家庭児童育成室の民間委託を進めれば、さらなる不信、不安を広げ、保育の質の低下にもつながりかねない。指導員の処遇を改善し、公の責任で指導員の確保や保育の質の確保を進めるなど、育成室運営の在り方そのものを根本的に見直すべきである。

付託案件

議案第97号 公園の管理の瑕疵による事故に係る損害賠償額の決定

議案第97号 公園の管理の瑕疵による事故に係る損害賠償額の決定

全員賛成で
承認

〈主な質疑項目〉

○事故の発生原因

○公園樹木の点検頻度の妥当性

○損害賠償を行う基準

○損傷した車両の修理に要した期間の根拠

建設環境常任委員会には単行事件1件が付託されました。
付託案件及び主な審査内容・結果は、次のとおりです。

建設環境常任委員会
〔審査分野〕
道路、公園、水道、環境など

主な付託案件

議案第80号 会計年度任用職員の給与等条例

フルタイム会計年度任用職員の給与ならびにパートタイム会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関し必要な事項を定めるものです。

議案第96号 訴訟上の和解

大阪高等裁判所で係属中の本市が被控訴人である地位確認等請求控訴事件について、和解するものです。

財政総務常任委員会には条例案等5件が付託されました。
主な付託案件及び審査内容・結果は、次のとおりです。

財政総務常任委員会
〔審査分野〕
防犯・防災、消防、行財政など



議案第80号 会計年度任用職員の給与等条例

全員賛成で
承認

〈主な質疑項目〉

- 職員団体との交渉において、給与制度等の一部の内容が合意に至らなかった理由
- 責任ある市民サービスが提供できるよう、常勤職員のいない職場に指揮監督権限等を持った会計年度任用職員を配置する必要性
- 同職員の任用にあたり、本市での職務経験者に限定せず、広く人材を求める必要性
- 同職員に適用される社会保険等の詳細
- 財政的理由により、任用形態が恣意的に変更される可能性があることへの懸念
- 人件費の増額により新たに生じる財政負担への軽減策の検討
- 会計年度任用職員制度の導入について市民に周知する必要性



吹田市役所

〈賛成意見の概要〉

- 同一労働同一賃金については賛成であるが、それに伴って人件費が増額することに対して、人員の削減や民営化の推進などで人件費総額を抑制する対策を講じられたい。

議案第96号 訴訟上の和解

全員賛成で
承認

〈主な質疑項目〉

- 障がい者の働く場の確保など、和解条項案の内容を誠実に履行する必要性
- 和解しなかった場合の、本市が負担する訴訟費用の詳細
- 本件和解を、障がい者計画等の実現に向け、努力をするという市の姿勢を対外的に公表する機会と位置づけることの検討

主な付託案件

議案第84号 勤労者福祉共済条例の一部改正

被共済者とすることができる従業員の範囲を拡大するものです。

議案第87号 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準条例の一部改正

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める省令の一部改正に伴い、放課後児童支援員の資格基準を変更するものです。

議案第89号 交通災害・火災等共済条例の廃止

交通災害・火災等共済条例を廃止するものです。

文教市民常任委員会には条例案等5件が付託されました。
主な付託案件及び審査内容・結果は、次のとおりです。

文教市民常任委員会
〔審査分野〕
教育、文化、コミュニティなど



議案第84号 勤労者福祉共済条例の一部改正

全員賛成で
承認

〈主な質疑項目〉

- 条例改正による事業所や従業員の増加見込み
- 雇用形態の多様化が進む中で、加入要件を緩和する目的
- 民間の制度があるにもかかわらず、市で共済制度を実施する理由



議案第87号 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準条例の一部改正

全員賛成で
承認

〈主な質疑項目〉

- 資格取得のための研修を修了した放課後児童支援員の確保策の検討
- 同支援員の欠員解消策の方向性



議案第89号 交通災害・火災等共済条例の廃止

賛成多数で
承認

〈主な質疑項目〉

- 年度により人件費が大幅に増減している理由
- 類似制度を運用している東大阪市や大東市の収支状況
- 民間保険等の紹介など、低所得の加入者に対する支援の検討
- 平成25年度に廃止を提案した際の理由と今回の理由との相違点
- 時代のニーズに合わせた制度見直しの有無
- 共済基金の残高がある中で、制度の廃止を提案する理由
- 同基金の使途を明確にせずに制度を廃止することの是非

付託案件

議案第85号 子ども医療費助成条例の一部改正

子ども医療費の助成対象者の範囲を、現行の中学校修了前までから18歳年齢到達年度末まで拡大するものです。

議案第86号 教育・保育施設条例の一部改正

西山田保育園を民営化するものです。

健康福祉常任委員会には条例案2件が付託されました。
付託案件及び主な審査内容・結果は、次のとおりです。

健康福祉常任委員会
〔審査分野〕
福祉、医療、子育てなど



議案第85号 子ども医療費助成条例の一部改正

〈主な質疑項目〉

- 国の医療費助成制度などで公費負担している部分については、本制度の助成対象とならないことを条例に明記しない理由

全員賛成で
承認



議案第86号 教育・保育施設条例の一部改正

〈主な質疑項目〉

- 移管先事業者が運営している他の民営化園での保護者の評価
- 民営化後における保育の質の低下に対する懸念
- 民営化の効果検証を行う目的や意義
- 民営化園における国旗掲揚に係る取り決めの有無

賛成多数で
承認

〈反対意見の概要〉

- 市域における保育水準の引き上げに大きな影響を持つ公立保育園の数が少なくなれば、本市の保育全体に関わる問題となるため、賛成できない。



民営化される西山田保育園

※分科会や委員会の質疑内容等は、委員会記録をご覧ください。また、本会議での賛否の状況は、14、15面の議決結果をご覧ください。

i 議案審査の詳細な内容等は、本会議録や委員会記録(図書館等での閲覧のほか、市議会ホームページの会議録検索システムからでも閲覧可能)をご覧ください。

～意見書・決議～

次の決議案1件を可決し、市長に送付しました。また、次の意見書案1件を可決し、政府等に送付しました。(一部を抜粋して掲載しています。)

◆「議案第95号 令和元年度吹田市一般会計補正予算(第6号)」に対する附帯決議

地方独立行政法人市立吹田市民病院患者送迎バス等運行事業補助金の交付にあたっては、同病院の患者送迎用バスの運行状況を毎年度検証し、その補助額及び補助期間を決定すること。

◆高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書

- (1) 自動ブレーキやペダル踏み間違い時加速抑制装置など、運転者の安全運転を支援する装置を搭載した安全運転サポート車(サポカーS)や後付けのペダル踏み間違い時加速抑制装置の普及を一層加速させるとともに、高齢者対象の購入支援策を検討すること。
- (2) 高齢運転者の交通事故を減らすため、安全運転サポート車に限定した運転免許等の導入を検討すること。
- (3) 免許証を自主返納した高齢者が日々の買物や通院などに困らないよう、コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーの導入など、地域公共交通ネットワークのさらなる充実を図ること。
- また、地方公共団体などが行う、免許の自主返納時におけるタクシーや公共交通機関の割引制度などを支援すること。

議 会 日 誌

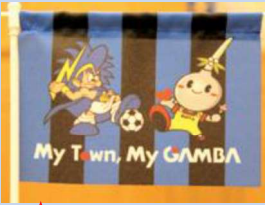
7月定例会閉会日以後の主な議会活動

開催した会議	
8月	5日 決算常任委員会、議会運営委員会小協議会
	9日 北大阪健康医療都市等のまちづくり検討特別委員会
	27日 決算常任委員会建設環境分科会
	29日 議会運営委員会小協議会
	30日 決算常任委員会
9月	2日 議会運営委員会
	5日 議会運営委員会
	9日 議会広報委員会
	10日 防災・減災等対策特別委員会
	12日 本会議、議会運営委員会
	19日 本会議、議会運営委員会
	20日 本会議
	24日 本会議、議会運営委員会
	25日 本会議、予算常任委員会、常任委員会(財政総務、文教市民、健康福祉、建設環境)
	26日 常任委員会(財政総務、文教市民)、予算常任委員会分科会(財政総務、文教市民)
10月	30日 常任委員会(健康福祉、建設環境)、予算常任委員会分科会(健康福祉、建設環境)
	2日 予算常任委員会、財政総務常任委員会
	4日 議会運営委員会
	7日 本会議、議会運営委員会、決算常任委員会

ガンバ大阪のユニフォームを着用して本会議を開催しました

本市議会で「市を挙げてガンバ大阪の更なるホームタウン活動を推進する決議」を全員賛成で可決してから4年を迎えました。今後もガンバ大阪を応援し、ホームタウン活動のさらなる推進を願い、ガンバ大阪のユニフォームを着用して9月定例会初日の本会議を開催しました。

また、9月定例会中は、議長席、演壇及び質問席にガンバボーイと市のイメージキャラクターすいたんが描かれた卓上フラッグを設置しました。



議決結果

<全員賛成の議案及び報告案件>

議案番号	案 件 名	議決結果
継続審査案件(令和元年7月定例会提案分)		
議案第76号	平成30年度吹田市水道事業会計剰余金の処分について	決 原案可決
議案第77号	平成30年度吹田市下水道事業会計剰余金の処分について	決 原案可決
認定第1号	平成30年度吹田市水道事業会計決算認定について	決 認定
認定第2号	平成30年度吹田市下水道事業会計決算認定について	決 認定
報 告		
報告第32号	損害賠償額の決定に関する専決処分について	報告
報告第33号	地方独立行政法人市立吹田市民病院の経営状況について	報告
報告第34号	地方独立行政法人市立吹田市民病院平成30年度の業務実績に関する評価結果の報告について	報告
報告第35号	平成30年度吹田市決算に係る地方公共団体の財政の健全化に関する法律における健全化判断比率等に関する報告について	報告
条 例		
議案第80号	吹田市会計年度任用職員の給与等に関する条例の制定について	財 原案可決
議案第81号	吹田市報酬及び費用弁償条例等の一部を改正する条例の制定について	財 原案可決
議案第82号	吹田市職員の勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	財 原案可決
議案第83号	吹田市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	財 原案可決
議案第84号	吹田市勤労者福祉共済条例の一部を改正する条例の制定について	文 原案可決
議案第85号	吹田市子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	福 原案可決
議案第87号	吹田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	文 原案可決
議案第88号	吹田市消防団条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
決 算		
認定第3号	平成30年度吹田市一般会計歳入歳出決算認定について	決 (継続審査)
認定第4号	平成30年度吹田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	決 (継続審査)
認定第5号	平成30年度吹田市部落有財産特別会計歳入歳出決算認定について	決 (継続審査)
認定第6号	平成30年度吹田市交通災害・火災等共済特別会計歳入歳出決算認定について	決 (継続審査)
認定第7号	平成30年度吹田市勤労者福祉共済特別会計歳入歳出決算認定について	決 (継続審査)
認定第8号	平成30年度吹田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	決 (継続審査)
認定第9号	平成30年度吹田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	決 (継続審査)
認定第10号	平成30年度吹田市公共用地先行取得特別会計歳入歳出決算認定について	決 (継続審査)
認定第11号	平成30年度吹田市病院事業債管理特別会計歳入歳出決算認定について	決 (継続審査)
その他の議案		
議案第90号	佐竹千里山駅線道路改良工事請負契約の締結について	可決
議案第91号	吹田市立佐竹台小学校校舎及び吹田市立佐竹台留守家庭児童育成室増築工事(建築工事)請負契約の締結について	文 可決
議案第92号	吹田市立中央図書館耐震補強及び大規模改修工事(建築工事)請負契約の締結について	可決
議案第93号	吹田市立中央図書館耐震補強及び大規模改修工事(機械設備工事)請負契約の締結について	可決
議案第94号	施設の管理の瑕疵による事故に係る損害賠償額の決定について	文 可決
議案第96号	訴訟上の和解について	財 可決
議案第97号	公園の管理の瑕疵による事故に係る損害賠償額の決定について	理 可決
議員提出議案及び委員会提出議案		
市会議案第10号	人権擁護委員の推薦に関する意見について	原案可決
市会議案第12号	「議案第95号 令和元年度吹田市一般会計補正予算(第6号)」に対する附帯決議 * 1	原案可決

定例会の概要
代表質問
質問
常任委員会
意見書等
議決結果
決算ほか

＜全員賛成以外の議案＞

議案番号	案 件 名	議決結果
条 例		
議案第86号	吹田市立教育・保育施設条例の一部を改正する条例の制定について	 原案可決
議案第89号	吹田市交通災害・火災等共済条例を廃止する条例の制定について	 原案可決
予 算		
議案第95号	令和元年度吹田市一般会計補正予算(第6号)	 原案可決
議員提出議案		
市会議案第11号	高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書	原案可決

※案件名の後ろに記載している文字は、その案件が付託された委員会を表しています。記載のない場合は、委員会に付託されていません。
…財政総務常任委員会、…文教市民常任委員会、…健康福祉常任委員会、…建設環境常任委員会、…予算常任委員会、…決算常任委員会
* 1 市会議案第12号は、地方独立行政法人市立吹田市民病院患者送迎バス等運行事業補助金に係る附帯決議です。(馬場議員ほか2人提出分)

賛否一覧表 全員賛成以外の議案について掲載しています。

	議決結果	日本共産党						公明党						自由民主党絆の会					維新の会				民主・立憲				新選会		市民と歩		無		賛成	反対			
		益田 洋平	村口久美子	山根 建人	玉井美樹子	柿原 真生	塩見みゆき	竹村 博之	浜川 剛	矢野伸一郎	井上真佐美	野田 泰弘	小北 一美	坂口 妙子	吉瀬 武司	泉井 智弘	澤田 直己	白石 透	石田 就平	藤木 栄亮	里野 善徳	高村 将敏	橋本 潤	斎藤 晃	松尾 翔太	井口 直美	西岡 友和	川本 均	木村 裕	山本 力	有澤 由真	石川 勝			後藤 恭平	馬場慶次郎	五十川有香
条 例																																					
議案第86号	原案可決	×						○						○					○				○				○		○		○	28	7				
議案第89号	原案可決	×						○						○					○				○				○		○		○	28	7				
予 算																																					
議案第95号	原案可決	×						○						○					○				○				○		○		○	28	7				
議員提出議案																																					
市会議案第11号	原案可決	○						○						○					×				○				○		○		○	30	5				

賛成者は○、反対者は×としています。
会派名：維新の会＝大阪維新の会・吹田、民主・立憲＝民主・立憲フォーラム、新選会＝吹田新選会、市民と歩＝市民と歩む議員の会、無＝無所属クラブ

「市議会NAVI(ナビ)」を発行しています



「身近な市議会・開かれた市議会」を目指す一環として、市民に、市議会のことを理解してもらい、関心を持ってもらえるよう、吹田市議会について、イラストや図表等を用いて分かりやすくまとめた「市議会NAVI(ナビ)」を発行しています。

この小冊子(A5サイズ)については、傍聴者等への資料として配布するとともに、市議会ホームページでも公開していますので、ぜひご覧ください。



決算常任委員会から市に対する提言

平成30年度の一般会計、特別会計の決算に関する事項について、9月定例会終了後の閉会中に決算常任委員会で審査を行い、その内容を踏まえ、委員会として以下の提言(意見や考え)を取りまとめ、市に提出しました。

なお、詳細な内容については、市議会ホームページまたはすいた市議会だより決算号(2月1日発行予定)をご覧ください。

財政総務分科会

1 救命救急体制の強化について

2 政策的経費の取扱いについて

文教市民分科会

3 小・中学校の暑さ対策について

健康福祉分科会

4 中高年のひきこもり対策について

5 福祉避難所の体制整備について

請願書や陳情書の提出について

市民の皆さんは、市政に対する要望や意見を文書にして、いつでも市議会に提出することができます。

請願書(請願を紹介する1名以上の市議会議員の署名または記名押印が必要)が議会に提出されると、委員会に付託して慎重に審査します。本会議で最終的に採択(取り上げるべき)と決定した場合は、市長に送付し、市長からは次の定例会に請願の処理の経過及び結果が報告されます。

また、陳情書は、その写しを全議員に速やかに配付し内容の周知を図っています。

書式例

(表 紙)

〇〇に関する請願(陳情)

紹介議員
(陳情の場合は不要)

(議員氏名)〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇

(内 容)

〇〇に関する請願(陳情)

吹田市議会議員 〇〇〇〇宛
年 月 日
請願者(陳情者)
住所
氏名 ㊞

≪請願(陳情)の趣旨、理由≫

_____ 下記の
事項を請願(陳情)します。
記

1 _____
2 _____

議員研修会を実施しました

平成30年1月に導入したクラウド型議会文書共有システム(インターネット上の仮想本棚)を活用して、議会や市政に関する資料等を本庁舎以外でも即時に確認するなどして、より活発な議会活動が図られるようにするため、主に1期目の議員を対象にシステムの操作などについて研修を実施しました。



11月に開催した議員研修会